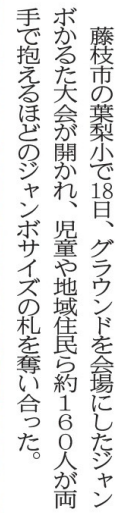


ジャンボ札で百人一首

藤枝・葉梨小



葉梨地区は小中学校で全員が百人一首を覚えるなど、かるた遊びが伝統的に盛ん。大きな札を使った百人一首大会は古くから小学校行事として実施してきたが、20年ほど前から中断していた。

地元の市消防団第4分団の有志は2年前、学校が保管していた札を借りて懐かしの行事を復活させた。紛失したり破れたりした札を厚紙や樹脂板で作り直し、55×40[㌢]の札100枚をそろえた。

大会は学校に隣接する公民館のまつりの一環で開催し、かつてジャンボかるたを楽しんだ子育て世代の住民らも多く参加した。グラ

グラウンドを駆け回って札を奪い合
う子供たち――藤枝市下之郷の葉梨小

ウィンドに引いたスター
トライン上で上の句に
耳を澄まし、下の句の
札を目掛けて駆け寄っ
た。

同分団長の八木孝さ
ん(40)は「体を動かして
札を奪い合う楽しさは
昔のまま。地域住民
が親睦を深める姿を見
て、再開して良かった
と思う」と汗をぬぐっ
た。

(小学校中学年以上 国語)